



2020年8月6日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役事業グループ管理本部長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <https://www.ibl-japan.co.jp>

中期経営計画の提出等について

当社グループは、2021年3月期～2023年3月期に係る中期経営計画を策定いたしましたので、当該中期経営計画を記載した資料を提出いたします。

当該資料について、当社のホームページに掲載いたします。

U R L	https://www.ibl-japan.co.jp/jp/ir/index.htm
掲 載 日	2020年8月6日

【添付資料】

新中期経営計画（連結） 2021年3月期（39期）～2023年3月期（41期）

新中期経営計画(連結)

2021年3月期(39期)～2023年3月期(41期)

(3カ年計画)

事業環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定を図る

経営目標 (2021年3月期(39期)～2023年3月期(41期))

2022年3月期《連結営業利益》
黒字化を目指す

抗HIV抗体の製造方法
の変更を決断！

→ 大幅なコスト削減

本日発表「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金使途変更に関するお知らせ」を参照

- ・化粧品(フレヴァン)の
中国・欧州販売本格化
- ・ネオシルク®・ヒト型コラーゲン
type I 拡販 type III 販売開始

体外診断用医薬品(原料含む)の上市8品目以上

新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化

抗HIV抗体の製造方法の変更を決断！

変更により予想されるメリットとデメリット

変更によるメリット	① 研究開発コストを大幅に低減できる ② 製造工場建設の必要がない ③ 承認ハードルが下がり導出交渉がやりやすくなる ④ 世界展開がしやすくなり、導出契約一時金・マイルストーン収入・ロイヤリティー収入が増大する
変更によるデメリット	① 導出契約一時金等の獲得が遅滞する ② 原薬の製造販売利益を喪失する

将来の事業リスク及び財務リスクを回避し、現時点における抗HIV抗体の事業価値最大化を追求

⇒今回の変更には、デメリットを打ち消してなお余りある大きなメリットがあると確信

本日発表「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金用途変更に関するお知らせ」を参照

数値目標 2021年3月期《39期》～2023年3月期《41期》

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	注1 576,692	549,000	836,000	1,10,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	25,245	29,000	100,000	注4 140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	注2 △595,359	△308,000	黒字化 10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	黒字化 0
検査事業	△26,227	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	注3 △410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む

注2 調整額 960千円含む

注3 持分法による投資損失を含む

注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

診断・試薬事業

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	576,692	549,000	836,000	1,110,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	29,249	29,000	100,000	140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	△595,359	△308,000	10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	0
検査事業	△26,227	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	△410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む
注2 調整額 960千円含む
注3 持分法による投資損失を含む
注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

第39期

※新型コロナウイルス感染症の影響予測

- ・国内・緩やかな回復基調(来期より前年並み)
 - ・海外・回復基調が顕著(第4Qより前年並み)
- (キット・抗体)
- ・第1Q実績、第2Q予測→30%減程度
 - ・第3Q・4Q予測→25%~20%減(事業活動回復)
- (受託)前年並みを予測
- (医薬品関連)BSEキット 受注増加予定
- ・海外バーチャル展示会へ出展
 - ・体外診断用医薬品の研究開発に注力

第40期~第41期

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化
 - ・体外診断用医薬品上市予定(診断薬原料供給含む)
- ⇒目標:8品目以上を目指す

設備投資

- ・体外診断用医薬品開発費用(数千万円)
- ・大きな設備投資(固定資産)については、前期までに終了

遺伝子組換えカイコ事業

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	576,692	549,000	836,000	1,100,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	25,245	29,000	100,000	140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	△595,359	△308,000	10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	0
検査事業	△26,221	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	△410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む
 注2 調整額 960千円含む
 注3 持分法による投資損失を含む
 注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

第39期～41期

※新型コロナウイルス感染症の影響予測
 特定の取引先のため影響は軽微と予測

・非特異反応が低いことや動物愛護の問題等により、数年前から大手診断薬メーカーで使用する診断薬原料として採用

⇒現状数千万円

⇒今後は製造数の増加が予定されており、数年内で数億円の受注見込み。

・化粧品原料「ネオシルク®・ヒト型コラーゲン」については、中国や欧州での販売増が見込まれる。

・グループ内の営業ソースを活用し、受託を積極的に受注開始

⇒新規製品の確立

41期不採算部門の脱却

コストの最適化・資産の有効活用

上記の数値には、契約一時金・マイルストーン・ロイヤリティー収入等は、含まれておりません

本日発表の「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金使途変更に関するお知らせ」参照

検査事業

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	576,692	549,000	836,000	1,10,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	25,245	29,000	100,000	140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	△595,359	△308,000	10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	0
検査事業	△26,227	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	△410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む
 注2 調整額 960千円含む
 注3 持分法による投資損失を含む
 注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

製造コスト・販管費

コスト低減の徹底
⇒利益体質への転換

グループ全体で効率化を
推進

第39期

※新型コロナウイルス感染症の影響予測

- ・第1Qにおいて、前年比35%超の落ち込み
- ・今後は、緩やかに回復基調が見込まれるものの本格回復は、来期以降と予想

(LipoSEARCH)

- ・大型案件受注獲得

⇒今期は前年並みの売上確保

(臨床検査)

- ・大手検査センターと契約を締結

⇒新規サービスにより売上増

第40期～第41期

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化

⇒海外導出を目指す

⇒自由診療に注力

化粧品関連事業

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	576,692	549,000	836,000	1,100,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	25,245	29,000	100,000	140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	△595,359	△308,000	10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	0
検査事業	△26,227	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	△410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む
注2 調整額 960千円含む
注3 持分法による投資損失を含む
注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

ヒト型コラーゲンⅢ

- ・2021年3月期中に販売を開始予定
- ⇒高級化粧品(TypeⅢ配合化粧品)開発

中国市場

- ・新規商標登録完了 「mojuin(モアジュアン)」「hfraisun(フレサン)」「freakun(フレクン)」
- ⇒40期、新規商標で販売開始
- ※アルファベット名「frais vent」商標問題
- ⇒2021年3月期3Q中に、結審予定

欧州市場

- ・「frais vent」の販売許可取得(EU規制に準じる東南アジアへも販売可能)
- ⇒通信販売サイト完成(欧州での販売が開始予定)
- ・Giuliani S.p.A社(1889年創業の老舗イタリア製薬企業)は、当社の開発したネオシルク®ーヒト型コラーゲンⅠを配合した注射医療器具をイタリア製薬ベンチャー企業303 Pharma S.R.L.社と共同開発し、クラス3(93/42/EEC/CE認証)として登録を完了
- ⇒Giuliani S.p.A社により製造・販売予定



本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品申請の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。